# 教育情報

VOL.54

「桂川っ子」の文字は、桂川中学校美術部員がデザインしたものです。

## みんなで頑張ろう
## 運動遊びや花、野菜の栽培活動

桂川幼稚園　園長　長野陽一

教育力向上福岡県民運動筑豊地区推進会議から「鍛えよう！　ほめよう！　学校の教育力向上プロジェクト」の推進校として、「みんなで頑張ろう　運動遊びや花、野菜の栽培活動」に取り組んでいます。

運動遊びは、4月から毎朝15分間行っています。まずは、全員で体操し、運動場を走ります。その後はクラスごとに分け、3歳児は、木にタッチや鉄棒のぶら下がり等、4歳児は、竹ポックリ、鉄棒前回り、アスレチック等、5歳児は、登り棒、鉄棒、雲梯、竹馬等を行っています。

その成果として、初めはランニングで歩いていた子が次第に走る姿を見せるようになるなど、少しずつ体力がついてきています。また、速く走りたいなど、ランニングに対する意欲が見られるようになりました。運動会では、その成果を発揮することができました。

花や野菜の栽培活動では、今年もキュウリ、トマトなどの夏野菜がたくさん収穫できました。昼食時には、獲れたてのキュウリを切って出すと、これまでほとんど食べなかった子も少しずつ食べるようになりました。他にも、カレー会食の材料は、カレーのルーと肉以外は、幼稚園で育てた野菜を使ってまかなうことができました。保護者の方々が作ったカレーは、とてもおいしかったです。

また、植木鉢を使って、3歳児は一人一鉢、4・5歳児は、一人二鉢で花や野菜の栽培を行っています。秋野菜、冬野菜の大根や白菜、水菜等の植え付けも終りました。豚汁の材料となる野菜も幼稚園で育てた野菜ですべてまかなえそうです。畑一面に大きく育ったサツマイモ、落花生、黒豆の収穫も楽しみにしています。

## しつけと愛情

桂川町教育委員会
教育長　穂坂和義

秋は運動会のシーズン。多くの小学校で運動会予定日となっていた9月30日㈰は、あいにくの空模様で、小雨の中で強行した学校、延期した学校と対応がまちまちとなりました。

翌週、そして翌々週は最高の運動会日和となり、本町内でも一幼稚園・三保育園の運動会が実施され、無事終了しています。

小さい園児たちの演技は、本当にかわいいもので、2歳くらいでもリズムに合わせてきちんとやれているのには感心しました。

徒競争などでは、一生懸命走って、ゴールで両手を広げて待っている先生の胸に勢いよく飛び込んでいました。先生が「よく頑張ったね」と、ギュウと抱きしめてくれる姿が印象的で、観ている者もほのぼのとした温かい気持ちになりました。

それぞれの家庭でも子どもに愛情いっぱいに接していただいていることと思いますが、これとは反対に「児童虐待」の報道を目にすることが最近増えてきました。

10月2日の新聞に「小学生女児が母親から30分以上にわたり執拗な暴行を受けて死亡した」という悲惨な記事が載っていました。暴行の理由は、「言うことをきかないから、しつけのために」ということですが、その子の体にはいくつもの傷跡があったそうですから、日常的に虐待を受けていたことが分かります。

今、学校教育の大きな問題として浮上しているのは「いじめ」問題と、育児放棄や放任、虐待などに起因する「不登校・怠学」が増えてきていることです。

子どもを出産し、親になったとしても、親であり続ける（親としての義務と責任を果たしていく）ことは、そう簡単なことではありません。しつけもこれを抜きには語る資格はないと思うのです。重要なのは、親の取る行為が愛情に裏付けられたものかどうかということです。